

令和7年度

黒石市に対する要望事項への回答

黒石市

令和7年度黒石市に対する要望事項一覧

【 黒石商工会議所 ⇒ 黒石市 】

最重点要望事項		担 当 課
1	黒石市制度融資保証料の増額について（継続・一部変更）	商工課

重点要望事項		担 当 課
◆福祉		
1	黒石市防災体制の拡充と黒石市防災マップの見直しについて（新規）	防災管理室 福祉総務課
◆商工業振興		
2	黒石市の経済対策について（継続・一部変更）	総務課財産管理室 商工課
3	人材不足問題解消に向けた支援金制度の創設について（新規）	企画課 商工課
4	マイナンバーカードの利便性をより高める自治体サービスについて（継続・一部変更）	市民環境課
◆都市環境		
5	主要地方道大鰐・浪岡線の交通渋滞解消と黒石環状線の整備促進について（継続）	土木課 都市建築課
6	廃校の空き施設を活用したドッグラン事業への貸出について（新規）	総務課財産管理室
◆観光振興		
7	観光分野におけるデジタル化の推進について（新規）	商工課 観光課
8	行政と市内観光事業者・食品製造業者等との情報共有の場への職員派遣について（新規）	商工課 観光課

様式 1

最重点要望事項 1 黒石市制度融資保証料の増額について（継続・一部変更）

担当課・機関名 商工課

要望事項の内容

黒石市制度融資は当該保証料を一定額、市が負担し中小企業者の資金繰りや経費負担の軽減に寄与しております。

小口資金特別保証制度の保証料補給は例年年度後半には保証料補給を受けられない中小企業者が出るなどニーズの高い制度であるため、今後早い段階で予算に達する可能性があります。

新たに連携した青森県融資制度の「事業活動応援資金（事業活動枠）」については、保証料の補助に際し、青森県と黒石市それぞれの予算状況に応じて保証料補給の有無が左右されるものとなっており、小口資金特別保証制度に比べて利用しづらい制度となっております。

制度自体の融資承諾が予算に達していない場合でも、保証料の給付については例年比較的早く予算に達しており、市が全額補助する小口資金特別保証制度の保証料補給枠がないことで融資の申込を躊躇するお客様が多くみられることから、今後1件でも多くの中小企業者が保証料給付を受けられるよう融資予算限度額の保証料補給を要望します。

要望事項に対する回答

黒石市特別保証制度は、令和6年度から黒石市小口資金特別保証制度に一本化し、青森県事業活動応援資金特別保証制度と新たに連携する制度の見直しを行いました。今年度の12月末現在の信用保証料補給実績は16,431千円の予算に対し、黒石市小口資金特別保証制度4,063千円、県融資制度との連携分として「事業活動応援資金特別保証制度」については3,525千円、「青森新時代」への架け橋資金特別保証制度については、679千円となっており、消化率は50.3%となっています。

今後も、より多くの中小企業者が信用保証料給付を受けられるよう、関係機関とも協議しながら黒石市特別保証制度の有効な活用方法を検討してまいります。

要望事項 1 黒石市防災体制の拡充と黒石市防災マップの見直しについて（新規）

担当課・機関名 防災管理室・福祉総務課

要望事項の内容

近年、激甚化する災害が頻発しており、令和4年8月には当市においても甚大な豪雨被害を受けました。災害から命を守るためには、市民一人一人の災害に対する心構えや知識と備えが重要です。現在、国や青森県が公表した岩木川水系浅瀬石川、十川が千年以上に一回の降雨により氾濫した場合に想定される最大規模の浸水想定区域図、土砂災害特別警戒区域、土砂災害警戒区域、地震の危険度、火山噴火影響範囲及び指定避難所などの情報を総合的に示してある「黒石市防災マップ」が黒石市内全世帯に配布されており、いざというときに参考・活用できる状態にあります。数年前に毎戸配布されて以来配布はされておらず、変更箇所は黒石市のホームページで閲覧できるのみとなっております。

国では災害対策基本法が令和3年に改正され、「福祉避難所の確保・運営ガイドライン」を改定・公表し、指定福祉避難所の指定を促進するとともに、事前に受入対象者を調整して、人的物的体制の整備を図ることで、災害時の直接の避難等を促進し、要配慮者の支援を強化するとしました。一般の避難所で長期間生活を続けることが難しい高齢者や障害のある方が二次的に避難できる福祉避難所を指定し、安全に避難生活を送れるように配慮されるとしており、福祉避難所の開設には「施設の安全性の確認」や「福祉関係職員・生活相談員などの人材確保」「電気や水などの確保」などの準備が必要となります。

つきましては、市の防災活動が円滑に行われるよう、高齢者や障害のある方、妊産婦や乳幼児が安全に避難できる福祉避難所の有効活用に向けた事前総合訓練と、非常時に混乱を招かないために福祉避難所を記載した「黒石市防災マップ」作成と再度の毎戸配布を要望します。

要望事項に対する回答

福祉避難所の避難訓練につきましては、平成30年度に山形地区、令和元年度に六郷地区にて福祉避難所開設・移送訓練を、令和6年度に北地区にて福祉避難所移送訓練を実施しております。今後も引き続き各地区等にて実施していく予定です。

現在市が「災害時における福祉避難所の設置運営に関する協定」を締結している福祉避難所は、指定避難所に避難された人のうち生活に支障が生じる人がいた場合に、災害対策本部が開設を要請し避難者を移送する施設であることから、災害発生時に市民が直接福祉避難所へ向かうなどの混乱を避けるため防災マップ等への掲載はしていません。しかしながら、要配慮者に対する避難施設について周知し、市民の安心を確保するという観点から、新たに黒石市防災マップを作成する際は、協定締結施設からの同意を得たうえで福祉避難所を掲載し、令和8年度に市ホームページや広報誌に掲載するほか毎戸配布する予定としております。

様式 1

要望事項 2 黒石市の経済対策について（継続・一部変更）

担当課・機関名

①商工課
②総務課財産管理室

要望事項の内容

① 令和6年度に行われた「物価対策くろいし応援商品券発行事業」においては、事業者・消費者の双方によい事業であったと思われます。そこで全国の自治体の経済対策事業を参考にしながら、より少ない経費（キャッシュレス化への対応等）で市内の事業者に還元する事業を要望します。
② 黒石市の入札制度における結果について、市内事業者の落札割合及び落札価格の公表を要望します。

要望事項に対する回答

① 令和7年度も、物価高騰対策として「物価高騰くろいし応援商品券発行事業」を実施する予定です。4月中には販売を開始することで準備を進めております。なお、キャッシュレス化への対応については現在のところ予定しておりません。
② 入札結果については、市役所1階入札室に『入開札一覧表』を掲示するとともに、市ホームページにも掲載しておりますのでご確認ください。

様式 1

要望事項 3 人材不足問題解消に向けた支援金制度の創設について（新規）

担当課・機関名 企画課・商工課

要望事項の内容

黒石市では、近年、地方における人口減少の進行により、あらゆる業種において後継者不足や人材不足が深刻化し、大きな課題となっています。その要因の一つとして都会との所得格差による若者等の都市部への流出が挙げられます。

しかし、都市部へ進学・就職をしたが、生まれ育った故郷に戻って暮らしたい、地元で貢献したいなど、Uターン就職を考えている若者も少なくありません。Uターン希望を後押しすることで、地域活性化の起爆剤ともなり得る若者が戻り、好循環が生まれると考えられます。

弘前市では、弘前市出身者の弘前市への移住・定住を促進することで、中小企業等における人手不足の解消及び生産年齢人口の増加に資することを目的に、令和4年度から県外から弘前市へUターンし就業等をした方に支援金を交付する事業を展開しています。令和4年度は単身1件・世帯3件、令和5年度は単身10件・世帯5件と着実に移住者が増え、人手不足の解消に繋がっている状況にあります。

つきましては人材不足問題への対策として、Uターン就業者への支援金制度の創設を講じていただくよう要望します。

要望事項に対する回答

黒石市では、若者の移住及び定住を促進するため、市内に居住し、奨学金の返還を行う者に対し、予算の範囲内で補助金を交付する「黒石市奨学金返還支援補助金交付要綱」を定めております。

補助金の額は、補助金の交付を受けようとする年度の前年度の奨学金の返還額に相当する額とし、1年度につき20万円を上限としており、条件はありますが最大で5ヵ年まで申請することができ、最大で100万円が交付されます。

令和6年度は29件、4,648,000円を交付している実績があり、本市として可能な限りの人材不足問題の解消に取り組んでおります。

様式 1

要望事項 4 マイナンバーカードの利便性をより高める自治体サービスについて（継続・一部変更）

担当課・機関名 市民環境課

要望事項の内容

現在、マイナンバーカードは、マイナポイント事業等によって普及促進が図られ、徐々に交付数が増加しており、市民は様々なサービスを受けられます。黒石市ではコンビニで住民票や印鑑証明を取得するサービスが開始され、自宅付近のコンビニでサービスを受けられる、自治体の営業時間外でもサービスを受けられるようになりました。

しかしコンビニで使用する機械はディスプレイ形式で高齢者にとってはわかりづらく、コンビニで取得せず市役所で交付を受ける方が多い現状です。

そこで高齢者が気兼ねなく簡単に書類を取得できるように、10月オープンする市民サービス施設でコンビニと同じ機械を設置し、操作方法の指導を行うなどマイナンバーカードの利便性をより高めるサービスの整備を要望します。

要望事項に対する回答

市では、令和5年3月1日からマイナンバーカードを使用し、全国のコンビニエンスストア等で、住民票の写し（謄本・抄本）、印鑑登録証明書、戸籍の全部事項証明書及び個人事項証明書、戸籍の附票の写しを取得できるようになりました。

本市における令和5年度のコンビニエンスストアでの各種証明書交付実績は2,198枚（全体交付数の1割程度）で、今後さらに利用率の拡大を図りたいと考えています。

貴所からご提案いただいた、黒石市役所わのまちセンターでコンビニエンスストアと同じ機械（マルチコピー機）を設置し、操作方法の指導を行うことについては、システム・設備の導入と維持管理に年間700万円弱の費用が想定されるため、まずは市広報紙、ホームページ、公式ライン等に利用方法を掲載するなど、ソフト面での情報発信を充実させつつ、引き続きマイナンバーカードの利便性向上に努めてまいります。

様式 1

要望事項 5 主要地方道大鰐・浪岡線の交通渋滞解消と黒石環状線の整備促進について（継続）

担当課・機関名 土木課・都市建築課

要望事項の内容

大鰐浪岡線は、大鰐町を起点とし、平川市・黒石市を経由して青森市と結ぶ重要路線である。近年、沿道の商業集積や通過交通の流入などによる交通量増加に伴い、慢性的に交通渋滞となっている。
この交通渋滞を解消するため、更なる拡幅工事と本路線東側バイパス路線を含む黒石環状線（都市計画3・4・7 巾16m 延長7,170m）の整備促進を図ることを引き続き要望します。

要望事項に対する回答

主要地方道大鰐浪岡線の交通渋滞緩和対策として、山形町等交差点への右折レーン設置や、寿町交差点から国道102号との交差点区間で信号機の調整による対策が行われております。
さらなる拡幅工事につきましては、用地取得に伴い、既存の住宅や商店にも大きな影響を与えることが想定されることから、現時点において予定はありません。
市は、都市計画道路3・4・7黒石環状線について、平成25年度より柵ノ木三丁目の県道弘前田舎館黒石線から北側角田方面への906メートル区間の事業に着手し、令和4年4月1日にりんご研究所から黒石中学校へ向かう交差点までの360メートル区間を一部供用開始し、令和7年4月1日の事業全区間供用開始を目指し事業を進めているところです。
現事業区間の終点である柵ノ木「りんご研究所」交差点付近から南側の国道102号「なごみホール黒石」交差点までの区間約1,100メートルの計画道路については、現在開発が進んでいるロジスティクス戦略の事業地にも直結し、物流に最適かつ効果的な道路であるとともに、大型車の円滑な通行、及び交通渋滞の緩和にも大きな役割を果たすことが期待できるものと考えております。
この区間の整備につきましては、浅瀬石川を跨ぐ大橋をはじめ、膨大な事業費が必要となり、技術面及び財政面においても、市が実施するには困難な事業であることから、県事業として整備していただくよう要望しているところです。
令和5年度に県と合同で現地調査を実施し、令和6年度から令和7年度にかけて、事業効果を検証するための交通量調査を実施する予定（令和6年度は実施済み）としており、取得したデータの分析を進め、事業効果を立証し、今後の事業推進の有意義性を県に働きかけていきたいと考えており、現在作業を進めているところです。

様式 1

要望事項 6 廃校の空き施設を利用したドッグラン事業への貸出について（新規）

担当課・機関名 総務課財産管理室

要望事項の内容

近年ペットを大切な家族として考える人が増えていることから、愛犬との生活をより豊かにするため、ドッグランの利用が人気となっています。

ドッグランは、単に愛犬家が自分のペットを運動させるだけの場ではなく、公共空間としてお互いに基本的マナーを学ぶことで、安心して過ごせる空間となります。ドッグラン設置と併せて、飼い主のマナー教室や犬のしつけ方教室などを開催することにより、飼い主のマナーがより一層向上します。飼い主のマナーが向上することにより、犬のフンの放置がなくなるなど、施設内に限らず道路等においても清潔で快適な環境形成が期待されます。また、人と犬が互いに気持ちよく利用できるレクリエーション空間をつくることにより、住民間コミュニティが犬を通じて形成されることが期待されます。

また、官民一体となって新しい活用に向けた空間づくりを進めている自治体もあり、むつ市では代官山公園、十和田市では道の駅とわだ等で、ドッグランが整備され多くの人で賑わっています。

つきましては、賑わいと楽しさのある空間づくりを実現し、まちのにぎわいに繋げるため、廃校の空き施設を活用し、ドッグラン事業への貸し出しを要望します。

要望事項に対する回答

市としての用途が決まっていない廃校は、旧六郷中学校、旧厚目内小中学校になります。校舎部分については、既に企業へ貸し出してあります。そのため、貸し出せる場所がグラウンド等の空いているスペースに限られますので、まずは使用方法等の案を作成し、財産管理室へご相談ください。

様式 1

要望事項 7 観光分野におけるデジタル化の推進について（新規）

担当課・機関名 商工課・観光課

要望事項の内容

近年、1回のクイックスキャンで様々な情報にアクセスできる「QRコード」は強力なツールとなっており、人々が見知らぬ場所を移動する方法に革命をもたらし、手軽に観光情報を仕入れる手段として観光業界に大きな影響を与えております。観光振興を効率化するため、旅行者と観光施設の両方に利便性をもたらされると考えます。

現在、黒石市の観光パンフレット等にはQRコードが掲載されています。しかし、観光パンフレットを携帯せずに観光施設に訪れる方もいらっしゃいます。せっかくお越し頂いたのに、観光案内がないまま帰られてしまっは、期待した結果にならない可能性もあります。このQRコードを活用できれば、自由に観光ガイドを受けられ、急激な円安を背景に増加しているインバウンド客にも対応できると考えられます。

つきましては、観光施設や黒石市内の店舗前の看板や出入口等にQRコードを掲載し、施設紹介などのシステムづくりを要望します。

要望事項に対する回答

市では黒石観光協会と協力し、観光客の誘客及び情報発信を行っております。インターネットを活用した情報発信は、黒石観光協会ホームページを玄関口と位置付けております。

ご指摘のQRコードの活用及びインターネットでの情報発信について、黒石観光協会ホームページに誘導するQRコードのシールを作成し、市内主要観光施設で活用するようにいたします。市内店舗内での掲示については、シールの作成を行いますので、需要のある店舗の情報提供及び配布方について貴会議所のご助力を賜りたいと思います。

様式 1

要望事項 8 行政と市内観光事業者・食品製造業者等の情報共有の場への職員派遣について（新規）

担当課・機関名 商工課・観光課

要望事項の内容

近年、当地域では様々なジャンルのイベント開催が活発化しています。客層は市内外に限らず、急激な円安を背景にインバウンド客も増え、交流人口の拡大が図られています。しかし、行政・実行委員会組織で主管するイベントの出店募集やビジネスチャンスに繋がる情報が多岐に渡り、募集期間も短いため、事業者は情報選別や意思決定のタイミングが図りづらく情報が不十分なまま事業が終了している状況が多く見受けられます。つきましては、市内観光事業者・食品製造業者等市内事業者がビジネスチャンスを逃さず利益拡大を図れるように、行政等と密な打ち合わせができる定期的な情報共有の場を設けたいと思いますので、その際には市の担当者を派遣いただくよう要望します。

要望事項に対する回答

市内事業者の利益拡大のため、定期的な情報共有の場を設けられるのは大変有益と考えられますので、行政としても担当者の派遣についてご協力いたします。